

# 『豊凶考察の為月観察の記録（仮題）』

## 解題と翻刻

小 池 淳 一

### 【解題】

はじめに ここに翻刻紹介するのは、岩手県二戸市似鳥字嘸ノ坂の三上洋一家に伝来した写本一冊である。当該書は表紙が失われていて本来の題名が不明であるため、内容の一部から仮に『豊凶考察の為月観察の記録』とした。ここには毎年の暦注及びその吉凶、作物の出来不出来、正月十五日の月の出と翌日の月の入りの様子、正月二十三夜の月の様子などが記されている。記録された期間は明治三十一年（一八九八）から大正一四年（一九二五）に及ぶが、記載内容は精粗さまざまであり、なかにはほとんど記述がない年もある。本稿は、この資料を北奥羽の農民の暦の知識と天候観察の蓄積の過程をつかがうことができるものとしてとらえ、なるべく内容を忠実に紹介しようとするものである。

書誌 最初に書誌的事項について述べる。原本は縦が約二四・七センチ、横が約一七・二センチの写本一冊で表紙が失われている。和紙を二つ折りにして紙縫で右側を三力所穴をあけて綴じてい

る。全五六葉で紙縫が新しいことからある時期に綴じ直されたと思われる。使用されている和紙は一部、別途使用されたものを再利用しているものがある。原本は長期間にわたって繰り返し参照利用されたことが、小口の損耗の具合や綴じ直してあること、左右の下部部分の手擦れなどから推測できる。

用いられた筆記用具は墨筆が大部分であるが、図などを書き入れる際には鉛筆も用いられている。次項に述べる三上惣吉氏が自己の手控えとして長年にわたって筆記し、参照してきた農事にまつわる記録といふことができる。

筆者について 本資料を記したのは三上惣吉氏（一八七五―一九三九）で現在の三上家の当主、洋一氏（昭和一七年生まれ）の曾祖父にあたる人物である。三上家は似鳥で、浅石のジユウエモン（重右衛門）と呼ばれる旧家である。明治八年生まれの惣吉氏は両親を早く亡くして祖父母に育てられ、青年時代には、盛岡農学校に入学した友人に送ってもらったノートで農業とそれに関連する勉強をしたらしい。青年期には役場などで働き、地元の県会議

員の紹介を経て、農民知事として有名な二戸出身の岩手県知事、  
国分謙吉（一八七八～一九五八）とも親交を結んだ。この似鳥で  
は篤農家として知られ、苗代のアトサク（後作）の指導などを行  
ったという。四〇代からは算盤を地域の子どもたちに教え、慕わ  
れた。人望が厚く無尽講などの元締めになって経済的な相互扶助  
の中心ともなっていた。<sup>1)</sup> 本資料は惣吉氏が地域生活のなかで農事  
の参考とするために意識して情報を集め、整理記録したものと位  
置づけることができる。

**特色と意義** この資料からは岩手県二戸地方の農民自身による農  
事にかかわる記録の様態を知ることができる。明治半ばから大正  
にかけてという限られた期間ではあるが、この地方の農業生活と  
そのなかで留意、観察されてきた自然現象とが書き残されている。  
本記録の意義は詳細に検討を加えていかなければならない部分が少  
くないが、現時点で次の三つの点を指摘できよう。

まず、第一にこの時期に直接生産に携わった目でさまざまな気  
象や天候、植物、動物などの様子が書きとどめられていることが  
挙げられよう。重要なものはそれらが、皆、稲作をはじめとするこ  
の地域の農事に関わるものとして注意深く記録されていること  
で、当時の自律的な農業生産への意欲と工夫とがうかがえること  
である。

第二にそうした自然観察の内容として暦の知識が重視されてい  
ることが興味深い。本資料には毎年、その年の冒頭には社日から  
彼岸までの日数や陰陽道で凶日とされる黒日の年間の回数、ある  
いは正月元日の風向きなどが記載されている。これらは近世以降、  
大雑書などを媒介に広まった陰陽道の知識が農事にも有用である

と意識されていたことを示している。さらに三上家には同じく惣  
吉氏が筆写したと思われる『東方朔秘伝』という陰陽道書の写本  
が残されている。<sup>2)</sup> このことは、惣吉氏が残した二冊の写本が、こ  
うした陰陽道書を重視し、筆写して手元に残すことと暦や陰陽道  
の知識を農事の実践に生かしていこうとする態度との関連を考え  
る好個の材料であることを示している。なお、この点については  
別稿でさらに考察する予定である。

第三に表題として仮に掲げたように本資料では特定の日の月の  
出入りが、作物の豊凶と密接に関わると考えられ丁寧に記録され  
ている。正月一五日の月の出、翌一六日の月の入り、さらに二三  
日の月の姿に関する記事は絵入りで詳細である。これらは民俗学  
では、年占や月待ちの習俗として広く全国各地で知られているも  
のであるが、その具体的内容が長期間にわたって記録されている  
例は管見の限りではあまり多くはない。二十三夜待の民俗につ  
いての資料は、そのほとんどが聞き書きによるもので、具体的な内  
容をこのように知ることがかなり難しい。この点から本資料は、  
明治から大正にかけての月待ちの様態をうかがうには貴重な民俗  
史料でもある。

総じて、この資料は自らの土地で農事をより充実させていこう  
とする強靱な意志のもとに、書物などから得た知識や民俗的な経  
験知識、さらには近代の農業技術の進歩や流通の整備拡大といっ  
た時代の流れにも留意してきた記録であり、地域生活のなかで育  
まれてきた資料と言えよう。こうした実践に取り組まれてきた三  
上惣吉氏の柔軟で総合的な営みが示唆するものは今日でも極めて  
多大であると言えよう。ここではこうした意義は指摘するにとど

め、今後詳細な検討を行う機会を持ちたいと考えている。

**翻刻にあたっての凡例** 翻刻にあたっては次のような原則でぞんだ。

- ・異体字は通用のものに改めた。
- ・仮名遣いは元のままを原則とした。
- ・翻刻者の浅字や原本の破損のため判読できない箇所については字数が確定できる場合は、で字数分を示した。確定できない場合はその箇所を「」で示した。
- ・記述内容を復元することに主眼を置き、必ずしも原文書の字配りや行の配置通りとはしなかった。
- ・月の出入について図が描かれている箇所はそのまま挿入するようになった。しかし縮小してあり、その縮尺は一定ではない。なお、(図1)のように番号を図の前に付した。
- ・丁づけは全体に付されていないが、仮に一葉の表を(1オ)、二葉の裏を(2ウ)のように示した。(9ウ)(10オ)と連続している場合は一〇葉の表が白紙であることを示す。
- ・明らかな誤りや方言などが反映されていると思われる箇所もそのまま翻字し、訂正を加えなかった。
- ・翻刻にあたっては正確を心がけたが、なお、誤読の可能性がある。識者の御教示を得たい。

### 註

- (1) 三上惣吉氏については曾孫である三上洋一氏に御教示を仰いだ。
- (2) 『東方朔』あるいは『東方朔秘伝置文』については拙稿「大雑書と東方朔」(『いしがみ』一九九八、「いしかみ」刊行会、一七三頁)ほかを参照。



しまくぼ  
三上家より勝腰山方面をみる(この方面に出入りする月を観察した)

【翻刻】

ツチノへ戌年

明治卅壹年度 旧之月日ナリ

前年秋社日彼岸ヨリ七日目 吉

黒日二十九日中

正月元日黒日 凶

春社日彼岸ヨリ前日吉

入梅五月節ヨリ五日目中

末田植ヨリ夏土用迄廿五日

アリ稲作上作之年ナリ

初田植五月節ヨリ九日目 吉

初田苺二百十日ヨリ七日目 中

秋社日彼岸ヨリ三日目凶

四月節木曜日風 中

五月節日曜日中

六月節木曜日風吹 中

七月節日曜日日照吉

八月節木曜日風吹 中

旧三月閏之為メ暑氣薄

正月元日朝風西 吉

正月十五日之夜月出入中(1才)

右年早稲中手稲晚手稲大二吉上作

大豆八大凶稗大麦小麦中作

小豆八吉上作蕎麥粟中之下作(1ウ)

明治三十二年度 ツノト亥年

正月元日アヤフム凶二日黒日凶三日ヲサム凶不作之印大凶先年秋

社日彼岸ヨリ二日目凶 春社日彼岸ヨリ三日吉 入梅五月節ヨリ

五日目中 初田植五月節ヨリ六日目中 末田植ヨリ土用迄テ二十

八日間アリ大吉

田植中ニ入梅アリ依テ田植ヲ急ク可キ年ナリ

巳六日六月中ニ巳之日三日アリ極上々年ナリ

月食旧五月十六日障ナシ 秋社日彼岸ヨリ七日目吉

四月節土曜日曇天中 五月節火曜日日照吉

六月節金曜日冷氣凶 七月節火曜日日照吉(2才)

八月節金曜日冷氣凶 黒日三十日凶

昨三十一日旧十月八日午前雨天午後天氣早手半吉

同年同月十八日晴天午後共中熟稲吉

同年同月廿八日午前晴天後雨天晚手稲半吉

同年同月十日之夜月有リ明ケニ付当世二年豊作之兆候

小寒旧十二月六日ヨリ例年之通り寒シテ十三日ヨリ非常ニ寒シテ

十五日迄テ三朝并ニ氷張り十六日ヨリ少シ暖氣トナリテ

廿三日ニ寒明ケリ

当世二年旧正月元日朝西風吉

此年作物結果八稲作早手中手吉晚手少シ悪シ稗吉粟半吉大小豆大

吉蕎麥半吉(2ウ)

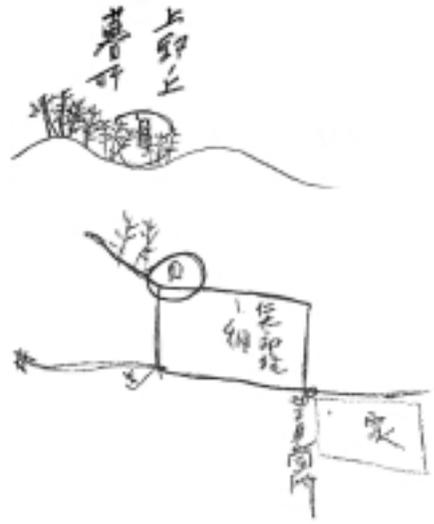
豊凶考察之為メ旧正月十五日之月出入略図

月之色八甚夕赤シ形状モ大ナリ

十五日之夜月

十六日之朝望見之図

(圖1)



十五日日出之際雲アリテ見ヘザルニ付参考之為メ十六日之月出ヲ

望見シタル略圖

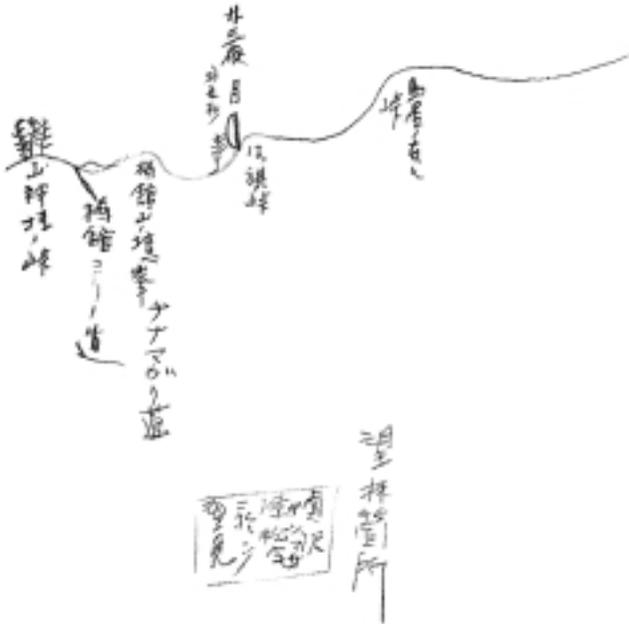
(圖2)



(3才)

豊凶觀察之為 明治卅二年旧正月廿三日様拜見圖  
月之形狀八甚夕大ニシテ丁度満月ヲ折半スタルモノヨリモ大ナル  
位ナリ

(圖3)



明治卅貳年度天気風雨調書

旧二月八天氣及風アリ

三月八天氣ナリ

四月旱魃ニテ作物発生セリ

五月天氣降雨相半セリ

六月降雨勝ナリ

七月雨多ケレトモ晴天ニハ暑シ

八月天気降雨之際大水増アリ

九月降雨勝ナリ(3ウ)

明治三十三年庚子年 旧ノ月日ナリ

昨年秋社日彼岸ヨリ七日目吉 春社日彼岸ヨリ二日前日吉

入梅五月節ヨリ五日目中 初田植五月節ヨリ一日目凶

田植中ニ入梅アリルニ付田植ハ急クニ及ザル也

田植旧五月拾壹日同月式拾壹日 土用旧六月式拾四日

初田蒔閏八月拾壹日 式百拾日八月八日

秋社日彼岸ヨリ式日目凶 四月節日曜日日照吉

五月節水曜日降雨凶 六月節日曜日日照吉

七月節水曜日降雨凶 八月節土曜日曇天中

八月閏ノ為メ晩稻之年ナリ 九月節火曜日日照大吉(4才)

正月元日朝西風吉 正月拾五日月出入凶

小寒ニ入りテヨリ近年稀ナル降雪アリ亦近年稀ナル嚴寒ニシテ寒

暖計氷点<sup>下</sup> 五四度位ナリト云フ

此年氣候

四月適温ニテ能ク發生ス

五月日照ニテ川水等大ニ減セリ及降霜アリ

六月前月ヨリ日照次キテ作物枯死セントセリ

七月近年稀ナル減水ナリ残暑甚タシ

八月降雨勝ナリ

九月降雨勝ニテ困ニケリ(4ウ)

正月拾五日月出略図

曇天ノ為メ明白ニハ見ヘザレトモ

大略此位地ヨリ出月セシナリ

昨参拾貳年ヨリ遅ク出月セリ

(図4)



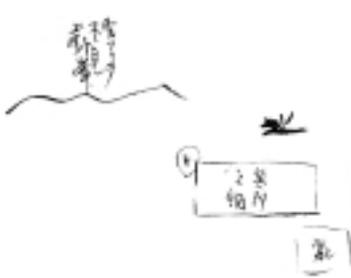
正月十六日朝月入略図

昨年ヨリ少シ南ノ方ニ入りタリ西方ニ

雲アリテ明カニハ見ヘザレトモ全夜明ケテ

ヨリ月入りタリ

(図5)



(5才)

明治卅三年旧正月廿三日夜月出略図

月ノ形状ハ昨年ヨリ少シ小サケレトモ先ツ大ナル方ニシ  
テ出月ノ際ハ甚夕赤シ色南ノ方ヲ抱ケリ

(圖6)



此年農作物結果八稻八大吉粟稗吉大豆蕎麥凶近年稀ナル豊年ナリ  
(5ウ)

明治三十四年度 カノト丑年

前年秋社日彼岸ヨリ二日目中

春社日彼岸ヨリ二日目吉 入梅五月節ヨリ六日目中

正月三日をさむ中 黒日二十五日中

四月節月曜日中 五月節木曜日中

六月節月曜日中 七月節木曜日中

八月節日曜日吉 秋社日彼岸ヨリ六日目吉

此年中稲ノ年ト考察セラル(6オ)

正月元日朝西風吉 寒中地震三度アリ大豆凶作ノ兆候

昨年ヨリ寒氣弱シ小寒入りテヨリ酷寒ト云フベキカナシ

降雪昨年ニ劣ラズ少シ多カルベシト思フ程ナリ

冬季甚夕遅シ寒前八雪ナクシテ春ノ如シ

正月二十三夜月ノ出所八北村へ落ツル所ノ杉ノ木ノ所ニ當リテ出

タリ大吉也(6ウ)

明治三十四年旧正月拾五日月出略図

雲アリテ見へサレトモ大略如此ナラト推察セリ

昨三十三年ヨリ南方ニ傾セリ且ツ遅ク出テタリ

(圖7)



十六日朝月入略図

雲アリテ見へサレトモ昨年ヨリ南方ニ傾シタルベシト思考セリ

(圖8)



(7オ)

此年氣候四月中八濕氣多シテ作物宜ク發生ス

五月八早魃ニテ暑シ

六月八暑氣多シ

七月二八寒キ日モアリ

八月八暑氣アリ為メニ早中稲吉シ

作物八稲早稲大吉晩稲半吉大豆吉粟大吉稗吉蕎麥吉(7ウ)

明治參拾五年牛寅年

正月拾五日出図

(圖9)



昨年ヨリ北方ニ出テタリ

此月ノ出入ニテ八中年ト考ヘタル

正月拾六日朝月入図

夜明ケテ後入リタリ

(圖10)



(8才)

明治參拾五年旧正月二十三夜月ノ出所略図

(圖11)



近年ニ見タル事ナキ程北方ニ出テタリ

但シ奥澤源松ノ宅ニ於テ望見ス

月ノ形状甚タ大ニシテ北方ニ出テタルヲ以テ古人ヨリノ伝言ニハ

豊年ノ兆候ナリト(8ウ)

明治參拾五年 ミツノへ寅年

前年秋社日彼岸ヨリ六日目吉

黒日三十三日大凶不作ノ兆

正月元日黒日凶

正月二日をさむ甚タ凶

春社日彼岸ヨリ八日目大凶

入梅五月節ヨリ五日目中

秋社日彼岸ヨリ一日目凶

巳六月中二巳ノ日三日アリ大吉

初田植五月節ヨリ三日目凶

月食旧曆三月十六土用前ナルヲ以テ障ナシ

四月節火曜日旱ノ兆吉

五月節土曜日中

六月節火曜日吉

七月節金曜日凶

八月節月曜日中

此表ニテ八凶年ト考察セラル(9オ)

三十四年十二月ノ事ナリ

冬期ニナリテヨリ嚴寒ト称スベキ日ナシ川二氷ノ張り越ヘタル時  
モナシ此レ夏期暑氣薄キ兆候ナラン此年氣候ハ春季ヨリ夏ニ掛ケ

テ毎日西強風吹キ為メニ作物発生セズ夏土用中ハ暑氣薄ク殊ニ寒

冷ナル東風ノミ吹キテ甚夕寒シ亦小雨アリ秋十月ハ暑氣アリテ毎

日晴天ナリ

稲八大凶大豆モ凶小豆モ凶稗ハ中粟ハ吉蕎麥大麦小麦モ吉稗ハ八

月ニ大強風アリタル為メニ中以下トナル

此強風ハ八月廿七日ヨリ廿八日午後迄テ吹キ荒シタリ古今稀ナル

強風ナリ(9ウ)

明治參拾六年癸卯ノ年

前年秋社日彼岸ヨリ一日目凶

黒日二十五日アリ吉シ

正月元日サタン中

春社日彼岸ヨリ二日目吉

入梅五月節ヨリ五日目凶

初田植五月節ヨリ三日目凶

末田植ヨリ土用迄テ二十日間アリ

秋社日彼岸ヨリ六日目吉

日蝕三月朔日障ナシ

月食八月十六日障ナシ

四月節木曜風吹中

五月節日曜日照吉

六月節水曜降雨凶

七月節日曜日照吉

八月節水曜降雨凶

正月元日ヒノトミ

二月元日ヒノヘイヌ

三月一日ヒノヘタツ

四月一日キノトトイ

五月一日キノトウ

閏五月一日キノヘサル

六月一日ミツノトウシ

七月一日ミツノトヒツ、

八月一日ミツノヘ子

九月一日ミツノヘウマ

十月一日カノトイ

十一月一日カノトミ

(10才)

大小欄内正月小三月小十月大十二月 吉

閏五月為メニ暑氣薄シ

巳六六月中二巳ノ日三日アリ極上々年ナリ

明治参拾五年十一月十二日冬期にナリタレトモ一日モ寒ムキ日ナシ

亦降雪モナシ毎日道路八泥ヌカリナリ河ニ氷モ張ラス

又氷流レタル朝八僅力ニ三朝計リ其レモ寒前ニアリ

旧十二月廿七日ニ八降雨アリテ川増水セリ

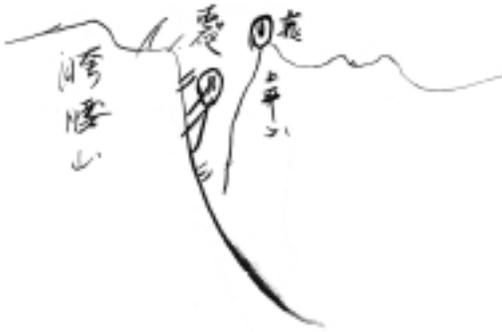
廿六年旧正月ニナリタレトモ寒クナラズ亦降雪モナシ

旧正月十六日ニ降雪アリ四五寸積リタリ(10ウ)

明治参拾六年旧正月十五日夜月出入望見略図

雲アリテ見ヘサレトモ大方此位地ヨリ出タルナラント思考セラル

(図12)



我家ヨリ望見ス

夜明ケテ後二入りタリ

(図13)



此月ノ出入ニテ八中年ト考察セラル(11才)

明治参拾六年旧正月廿三夜月ノ望見ノ図

月ノ形状昨年ヨリ甚夕小ニシテ弓状ナリ且ツ昨年ヨリ南方ニ出テ

タリ但シ一点ノ雲モナキ故慥力ニ見ヘタリ

(図14)



我家ヨリ望見ス

比月ノ出入ニテ八大豊作ト考察セラル(11ウ)

此年氣候ハ春大霜降りテ 及菓実ノ花黒変シタリ夏ニ至リテ降雨  
勝ナリ土用前ヨリ毎日ノ様ニ降雨アレトモ割合ニ温暖ナリ秋ニ至  
リテモ少シモ上ラズ雨ノ降ラザル日ナキ位ナリ

旧八月三日大強風アリ

降雨ノ為メ稗物大抵腐敗セリ

作物八稻八株張ナキモ先ツ例年ノ実入ナリ苧高八甚夕減セリ

小豆大豆八先ツ例年ナレトモ大豆八積 二依リテ收穫少ナキモ  
アリ

大麦八吉シ小麦八種子モナキ位ナリ

稗八吉シ藁麦モ吉シ

先ツ比較スレバ中年ナリ(12オ)(12ウ)

明治參拾七年甲辰ノ年

前年秋社日彼岸ヨリ六日目吉

黒日參拾一日以上アリ大凶ノ年

正月元日西風吹吉

春社日八彼岸ヨリ七日目凶 春彼岸八旧二月二日社日八九日

入梅五月節ヨリ五日目中

初田植五月節ヨリ八日目吉

末田植ヨリ土用迄テ十八日アリ 田植

旧五月一日

旧五月十日

旧五月十九日

土用旧六月八日

旧八月十二日

秋社日彼岸ヨリ一日目凶

日蝕旧二月一日障ナシ

旧四月節金曜日冷氣凶

旧五月節月曜日冷氣凶

旧六月節木曜日風中

旧七月節月曜日冷氣凶

旧八月節木曜日風中

旧正月元日カノヘタツ

旧二月元日カノヘイヌ

旧三月元日カノヘタツ

旧四月元日ツ、ノトトリ

旧五月元日ツ、ノトウ(13オ)

旧六月元日ツ、ノヘサル

旧七月元日ヒノトウシ

旧八月元日ヒノトヒツ、

旧九月元日ヒノヘ子

旧十月元日ヒノヘウマ

旧十一月元日キノトイ

春彼岸ノ日ヨリ六日目二卯ノ日アリ然レトモ障リナシ

明治三十六年旧十月ノ初旬ヨリ降雪アリ寒前ヨリ寒氣烈シク積雪

モ先ツ近年ニナキ位ナリ(13ウ)

正月十五日月望見ノ凶

夕方早く出テタリ

(図15)



昨年ヨリ少シ北方ニ出テタルナラント思ハル  
拾六日朝月入望見図

空一面ニ雲アリテ少シモ見ヘズ

(図16)

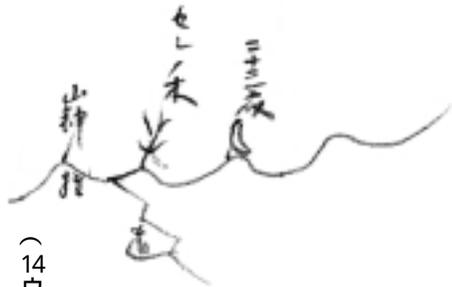


(14才)

三十七年正月一拾三日夜月望見ノ図  
月形状大ニシテ白光アリ昨年ヨリ少シ北ニ傾セリ一点ノ雲モナク  
慥力ニ見ヘタリ

奥山浅吉宅ヨリ望見ノ図

(図17)



(14ウ)

昨年大麦上作小麦八降雨ノ為メ発芽シ不凶トナレリ稗粟大豆小豆  
吉蕎麦凶稲八早中稲上作晚手中作先ツ大豊作ナリ  
氣候八夏天气勝ナリ秋降雨勝ナリ(15才)(15ウ)

明治参拾八年乙巳ノ年

前年秋社日彼岸ヨリ一日目凶

黒日式拾壹日アリ大吉ノ年

旧正月元日西風ナラン曇天ナル故不明

春社日彼岸ヨリ式日目大吉

入梅五月節ヨリ六日目中

初田植五月節ヨリ六日目中

末田植ヨリ土用マテ十九日アリ

月蝕旧正月拾六日障ナシ

四月節土曜日曇天中

五月節火曜日日照吉

六月節土曜日曇天中

旧正月元日キノエイヌ

二月一日キノエタツ

三月一日キノエイヌ

四月一日キノエタツ

五月一日ミツノトトリ

六月一日ミツノトウ

七月一日ミツノイサル

八月一日カノトウシ

九月一日カノトヒツ、

十月一日カノエ子

十一月一日カノエウシ

十二月一日ツ、ノトイ(16才)

七月節火曜日日照吉

八月節金曜日冷氣凶

六月中二巳ノ日参日アリ極上々年

明治三十七年旧十一月八日ヨリ降雪アリタレトモ甚夕暖ニシテ寒  
ニ入りテモ河ニ氷ノ流レタルトキ稀ナリ旧十一月二十六日ニ大降  
雨アリ三十八年旧正月式日ヨリ寒氣甚タシク毎日河ニ氷張リ流レ  
タリ井水モ氷張リタル朝二日アリ

此年大豆八大不作稻八晚稻八種ニモ不足スル程不作ナリ稗八一束  
ニ付四升位ノモノ上作ノ積ナリ未夕見タル事ナキ凶年ナリ

此年氣候八春風アリ田植ノ頃八天氣悪シク夏土用人テヨリ毎日冷  
氣降雨アリ為メニ凶作ニナリタリ八月十五日ニ早稻半分位出穂セ  
リ晩手八九月二日(二百十日)ニ未夕出穂セズ(16ウ)  
三十八年旧正月十五日夜望見ノ図

(図18)



夕方未夕明カル中ニ出テタリ  
昨年ヨリモ北方ニ出テタリ  
近年ニ見サル程北方ニ出テタリ大豊作ノ兆  
十六日ノ朝月見ノ図  
夜明ケテ後入りタレトモ昨年ヨリ北方ニ入りタリ

(圖19)



(17才)

正月二十三夜月望見ノ図

(圖20)



我家ヨリ望ムニ栄助ノ屋根ノ中程ニ出テタリ昨年ヨリ少シ北方ニ  
出テタルナリ(17ウ)

明治三十九年丙午年

前年秋社日彼岸ヨリ五日目吉

黒日三十一日アリ大凶

正月元日風向未申方吉

春社日彼岸ヨリ七日目大凶

入梅五月節ヨリ五日目中

初田植五月節ヨリ十五日目吉

末田植ヨリ土用マテ二十日アリ

旧正月十六日月食障リナシ

旧六月十五日月食皆既大凶

四月節旧四月十三日日曜吉

五月節旧閏四月十六日木曜風吹中

旧正月元日ツツノト巳 小

二月朔日ツ、ノヘタツ 大

三月朔日ツ、ノヘイヌ 大

四月朔日ツ、ノヘイヌ 小

閏四月一日ヒノトウ 大

五月一日ヒノト西 小

六月一日ヒノヘ寅 大

七月一日ヒノヘ申 小

八月一日キノト丑 大

九月一日キノト未 小

十月一日キノヘ子 大

十一月一日キノヘ午 小

十二月一日ミツノト亥 (18才)

五月節旧閏四月十六日  
初田植旧五月一日

六月節旧五月十七日月曜日吉  
七月節旧六月十九日水曜日雨大凶

八月節旧七月二十日土曜日曇天凶

旧閏四月大古語ニ曰クウロダエル凶

旧六月中二巳ノ日三日アリ極上々年ナリ

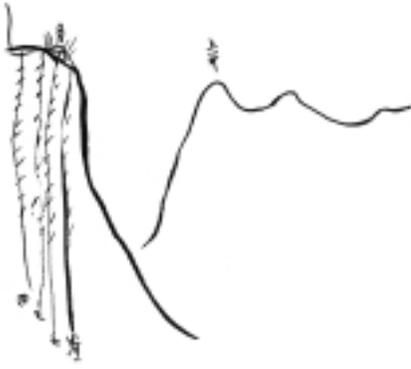
秋社日彼岸同日大凶

明治参拾八年旧拾月九日初メテ降雪アリタレトモ以後暖氣ニテ降雪少ナク河ニ氷ノ張りタル日稀ナリ旧十二月二十五日ノ晚大降雪アリ積ル事一尺五六寸以後烈シク寒氣ニテ毎朝井ニ氷張り河水見ヘサルマテ水流レタリ旧正月式日(三十九年ノ)ニ降雪アリ亦正月元日ノ夜及同四日の夜電光アリ亦坂本鉄二郎様ノ話ニ依レハ二日二戸二行キタル所鳥越ノ川辺ニ櫻鳥二百羽計リ居リタル由此鳥八春彼岸ニナラザレバ来ラザル鳥ナルニ斯ク早く出ツル八不思議ナルトノ事ニ付此ニ記ス(18ウ)

三十九年旧正月十五日晚月出所略図

(図20) 昨年ヨリ北方ニ出テタリ大豊作ノ兆ナリ

旧十六日朝月入所略図



(図21)

曇天ニテ少シモ見ヘズ

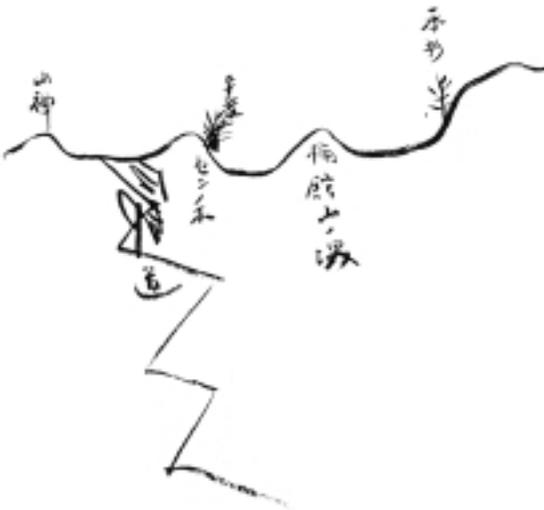


旧二月十二日ニ大雪降り四尺計リ積リタリ(19才)

三十九年旧正月二十三夜月出所略図

(図22)

月形状甚タ大ニシテ満月ノ半分以上ナリ白色にシテ光ナシ近年ニ



見タル事ナキ程北方ニ出テタリ

一点ノ雲ナキ為メ慥カニ見ヘタリ

我家ヨリ望見スル二三上栄助ノ屋根ノ東方ニ当テ出テタリ(19ウ)  
此年春季日照ニテ畑作物発芽宜シカラズ水不足ニテ田植困難ノ所  
アリ土用前ニ八河魚死セリ土用ヨリ氣候適順ナラズシテ作物宜シ  
カラズ畑作ニ八稗八中作粟八上作大豆八下作ニテ一反歩ニ五斗内  
外ノ收穫アリ稲八早中稲八宜シ晚稲八凶ナリ蕎麦八早蒔八宜シ晚  
蒔八凶秋ノ霜早キ為ナリ(旧八月十日ニ大降霜アリ) 大麦小麦八  
宜シ

旧九月十六日ニ晚稲苅リ戻リタル所降雪リ大風吹キテハセ倒レタ  
リ(20才)(21ウ)

明治四拾年丁未年

前年秋社日彼岸同日大凶

正月元日風向西吉

春社日彼岸ヨリ一日目吉

入梅五月節ヨリ五日目中

初田植五月節ヨリ十五日目

四月節旧三月二十五日火曜日吉

五月節旧四月二十七日金曜日冷凶

六月節旧五月二十八日月曜日冷凶

七月節旧七月一日金曜日冷凶

八月節旧八月二日月曜日冷凶

春彼岸旧二月六日卯ノ日ナリ凶

旧正月朔日ミツノトノミ小

旧二月朔日ミツノヘイ又大

旧三月朔日ミツノヘタツ小

旧四月朔日カノトトリ大

旧五月朔日カノトウ大

旧六月朔日カノトトリ小

旧七月朔日カノヘトラ大

旧八月朔日カノヘサル小

旧九月朔日ツ、ノトウシ大

旧十月朔日ツ、ノトヒツジ小

旧十一月朔日ツ、ノヘ子

旧十二月朔日(22才)

明治三十九年旧九月十六日ニ初メテ降雪アリ其後降雪ナク十一月  
初旬ニ至リテ降雪アリタレトモ多ク八降ラズ小寒ノ前ヨリ寒ニ入  
リテ二三日八寒氣烈シク河ニ氷張りタレトモ其後八温カナリシガ  
寒過キテヨリ非常ニ寒氣烈シク毎朝井ニ氷張り河ニ氷流レタリ四  
十年正月三日ニ降雪アリ七日ヨリ八日ニ亘リ大降雪アリ積ル事二  
尺五寸アリ

坂本鉄二郎様ノ話ニ鳥越ニ桜鳥三十九年旧十二月七日ニ来テ居タ  
トノ事昨年ヨリ六日計リ早シ(但シ陽曆ニテノ事) 旧正月十七日  
ニ鳩八鳴キテ居タトノ話モアリ  
寒ノ入日ニ八少シ雨アリ(22ウ)

四十一年旧正月十五夜月出所略図

(圖23)



昨年ヨリ少シ南方ニ出テタリ豊年ノ兆ナリ未タ明ナルニ出テタリ  
同十六日朝月ノ入所略図

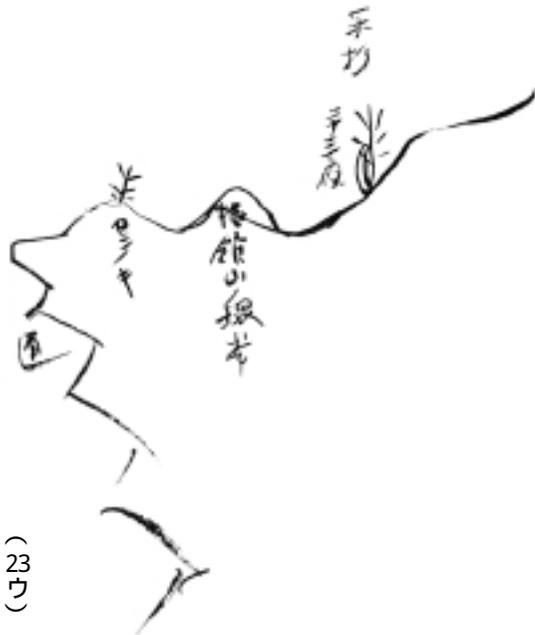
満天曇テ少シモ見ヘズ(23オ)

四十一年旧正月二十三夜月出所略図

我家ノ前(但シ居間ノ前)ヨリ望見シルニ一本杉ト称スル杉ヲマ  
ダヘテ出テタリ形状ハ满月ヲ二分セシ如ク大ナリ色赤色ヲ帯ビ薄  
雲アリ其時雲飛行スルハ静カニシテ見分ケ兼ネル位ナレトモ慥ニ  
南風ト思ヘタリ

我家ノ座敷ノ前(テノ戸口)ヨリ八栄助ノ屋根ノ西方ノ端ノ所ヨ  
リ出テタリ

(圖24)



(23ウ)

此年氣候春日照ニテ稗粟莠芽セザル箇所アリ夏六月日照ニテ川魚  
死セリ秋風少ナシ稻八中作晚稻悪シ稗八上作粟八上々作蕎麥早時  
宜シ晚時八凶作大豆中作小豆八凶豊年ノ方ナリ大麦小麦八宜シ

(印影)(印影) 高嶋熊蔵氏印ナリ(24オ)(24ウ)

明治四拾年旧十二月四日寒入りテ六日ノ日ヨリ温暖トナリ七日ノ  
夕方二八少シ降雨アリ十二日ヨリ寒氣加ハリ拾七日二八大降雪ア  
リ積ル事二尺余十九日二十日八両日八酷暑ニシテ井二寸計ノ厚  
サノアル氷張りタリ其レヨリ寒氣甚タシカラザレトモ大抵川二氷

流レタリ寒過キテ四十一年ノ旧正月五六七日頃二八川氷減少シタ  
リ(25才)

明治四十一年戊申年

前年秋社日彼岸ヨリ五日目吉

正月元日風向西吉

春社日彼岸ヨリ六日目凶

入梅五月節ヨリ五日目中

四月節旧四月六日水曜日凶

五月節旧五月八日土曜日凶

六月節旧六月九日火曜日吉

七月節旧七月十二日土曜日凶

八月節旧八月十三日火曜日吉

旧正月朔日ヒノト亥

旧二月朔日ヒノト巳

旧三月朔日ヒノヘ戌

旧四月朔日ヒノヘ辰

旧五月朔日キノト酉

旧六月朔日キノト卯

旧七月朔日キノヘ申

旧八月朔日キノヘ寅

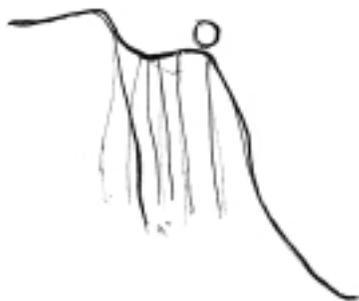
旧九月朔日ミツノト未

旧十月朔日ミツノト丑

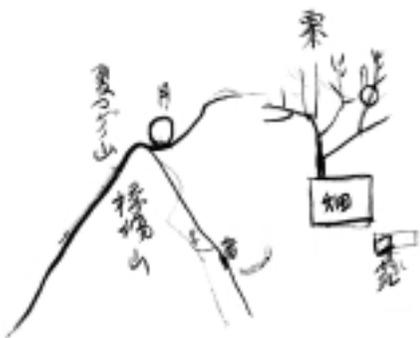
旧十一月朔日ミツノト未

旧十二月朔日ミツノヘ子(25ウ)

明治四拾壹年旧正月十五日晚月出所略図  
(図25)



未夕明ナルニ出デタリ昨年ヨリ北方ニ出デタリ  
同年十六日朝月入所略図  
(図26)



夜明ゲテ後入リタリ近年中北方ニ出デタリ(26才)

明治四十一年旧正月二十三夜月出所略図

(圖27)



昨年ヨリ東方ニ出テタリ雲アリテモ一ロトシテ雲ノ中ヨリ只月  
蔭アルノミ風向南ナリ

我家ヨリ望見スルニ栄助ノ屋根ノ東方ニ出テタリ古人ノ言ニ依レ  
八大豊作ノ兆ナリト云。(26ウ)

此年氣候ハ春少シ日照ノ方ナレトモ作物発生宜シク亦風モアリ  
夏旧五月ヨリ九月迄テ日照ニテ田水不足力チ河水減少シテ川魚死  
セリ

秋旧十月十五日ノ夜降雪五六寸アリ十日間計消工ズ其後亦天氣ト  
ナリテ旧十二月二十三日マテ除雪ナク道路ハ、シミ、乾セ二ナリ  
テ恰モ夏期ノ如クナリ然レトモ寒氣烈シク毎朝井及河ニ氷張リタ  
リ其夜五六寸雪降りテ其後寒氣甚タ寒シ  
作物ハ早中稲吉晩稲悪シ稗吉粟半吉大豆小豆中吉蕎麥吉菓物ナラ

ズ(27才)(27ウ)

明治四拾貳年己酉年

前年秋社日彼岸同日凶

旧正月元風向西吉

春社日彼岸ヨリ一日目吉

入梅五月節ヨリ五日目中

田植

田刈

四月節木曜日中

五月節日曜日吉

六月節木曜日中

七月節日曜日吉

八月節水曜日凶

旧正月朔日ミツノ工午

旧二月一日カノト亥

旧閏二月一日カノト巳

旧三月一日カノ工戌

旧四月朔日ツ、ノト卯

旧五月朔日ツ、ノト酉

旧六月朔日ツ、ノ工寅

旧七月朔日ツ、ノ工申

旧八月朔日ツ、ノ工寅

旧九月朔日ヒノト未

十月朔日ヒノト丑

十一月朔日ヒノト未

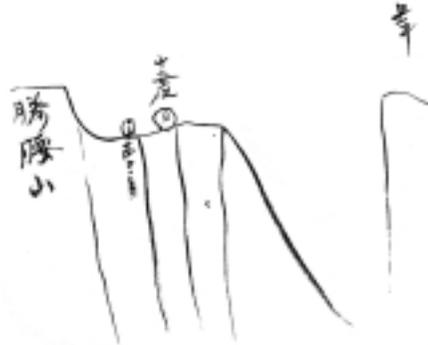
旧十二月朔日(28才)

明治四拾貳年旧正月四日ノ晚ヨリ六日ノ朝迄テ降雪アリ積ル事三

尺二及ヒタリ(28ウ)

明治四拾貳年旧正月拾五日月ノ出所略図

(図28)



月ノ形状大ニシテ色白シ遅ク出テタリ然レトモ北方へ出テタリ

十五日ノ月十六日朝月ノ入図

(図29)



此位地ニ入りタルナラン雲アリテ見ヘズ(29才)

二十三夜八不見ニ付不記(29ウ)

明治四十二年此年氣候八春ノ氣候八適順ニシテ作物ヨリ發生シ稲苗モ丈夫ナリ夏ニ入りテヨリ毎日照ニシテ勝腰ノ草木及其他岩山ノ木草皆枯レ冬ノ木ノ如ク葉皆落ツタリ川魚モ皆死シタリ然シテ旧六月二十五日ニ降雨アリ其レヨリ毎度雨アリ二百十日ノ萩刈頃ニ八毎日降雨アリ萩草大抵流サレタリ其ヨリ旧八月十三日九月二十三日ニ大降雪アリテ稻稗粟小豆皆脱落シテ收穫大ニ減セリ古今未曾有ノ大雹ナリ

十一月十八日初メテ降雪アリ其レヨリ日向ノ場所ハ消エニテ春ノ如クナリ其レヨリ四十三年ニ至ルマテ一尺以上ノ雪ハ降ラズ寒氣ハ小寒前ニ烈シク寒ニ入りテ暖カナリ大寒ニ入りテ寒氣アリ四十二年一月二至リ大風雪アリテ河水(30才)張り塞リタリ河水八昨年ヨリ減少セザリシ稻ハ早手中手吉晩手ハ少シ悪シ稗ハ吉シ日照ノ為メ収量少シ大豆八日照ノ為メ収量例年ノ半分位ナリ小豆悪シソバ早蒔吉シ晩蒔悪シ

大麦ハ腐敗シテ收穫大ニ減少セリ小麦ハ先ツ可ナリケリ

四十三年二月ノ下旬ヨリ寒氣烈シク毎朝河ニ氷流レ多シ亦井ニ氷張りタルトキ五六朝アリ三月初旬ニ亘リテ河水減少セ (30ウ)

明治四十三年庚戌年

前年秋社日彼岸ヨリ三日目中

旧正月元日風向西吉

春社日彼岸ヨリ五日目中

入梅五月節ヨリ六日目中

田植

田刈

黒日二十二日大吉

四月節金冷凶

五月節月冷凶

六月節金冷凶

七月節月冷

八月節木中

正月元日ヒノヘウマ二月一日キノトイ、三月一日キノトミ

四月一日キノヘイ又五月一日ミツノトウ、六月一日ミツノトトリ

七月一日ミツノヘトラ八月一日ミツノヘサル九月一日カノトウシ

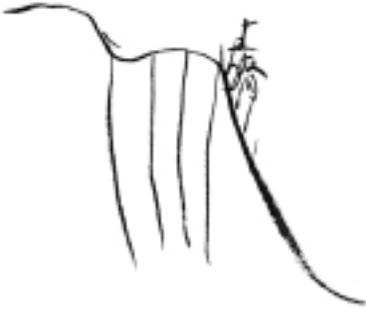
(31才)

十月一日カノトヒツミ十一月一日カノトウシ十二月一日カノトヒ

ツミ(31ウ)

四十三年旧正月十五日夜月ノ出入略図

(図30)



月ノ形壮大ナラザレトモ近年ニナキ程明カニ出タリ白色ナリ昨年

ヨリ南ニ出テタリ余リ遅レサリシナリ

十六日朝月ノ入図

甚タ遅ク日光出テデ後入リタリ近年ナキ程遅レタリ

(図31)



位置八昨年ノ所位ナラン四十一年ヨリ南ニ傾キタリ(32才)

四十三年旧正月二十三日夜月拜見略図

(図32)



月形状甚々大ニシテ色赤シ一点ノ雲タニナキ為メ明力ニ見ヘタリ  
 近年ニナキ程南方ニ出テタリ嶋久保峯即チ鳥居ノアル峯ヨリ出テ  
 タリ近年見ザル程南ニ出テタリ亦甚々遅レテ出テタリ  
 古人ノ言ニ二期ク南方ニ傾シテ出テレハ相場八上々タルトノ例ヘ  
 ナリ(32ウ)

明治四十四年度辛亥ノ年

前秋社日

正月元日

黒日数

春社日

入梅

初田植

末田植

初田刈

秋社日

四月節

五月節

六月節

七月節

八月節

正月元日

二月朔日

三月朔日

四月朔日

五月朔日

六月朔日

七月朔日

八月朔日

九月朔日

十月朔日(33才)

十一月朔日

十二月朔日(33ウ)

四十四年旧正月十五日夜月出所略図

(図33)



月ノ形状甚々大ニシテ明力ニ見ヘタリ色少シ赤色アリ昨年ヨリ北  
 方ニ出テタリ  
 暗クナリテ後出テタリ  
 四十二年ニ出テタル所ヨリ出テタリ

同十六日朝月入所略図

雲アリテ見ヘザレトモ多分左図ノ所ニ入りタルナラン遅ク入りタルベシ

(図34)



(34オ)

同二十三夜月出所図

昨年ノ所ヨリ少シ北方ナランカ否同所ナランカト思ハル、形状大ナリ出ツル時ハ雲アリ色白シ少シ登リテ後赤色ヲ帯ヒタリ

(図35)



(34ウ)

明治四十五年壬子年(35オ)

此年ハ作物先ツ平年ナリ

一ノ関マデ視察ニ出張セリ(九月一日ヨリ)(35ウ)

明治四十五年正月十五夜出所図

(図36)



少シ遅ク出テタリ

十六日朝入所見ヘズナリ遅レテ入りタリ(36オ)

二十三夜曇リテ見ヘスナリ(36ウ)

大正二年癸丑年豊凶考方(37オ)

此年氣候不順ナル時アリテ稲作晩手悪シ凶年ナリ(37ウ)

大正二年之正月十五日月出所図

早く出テタリ月色白シ

(図37)



十六日朝出入所図

遅ク入りタレトモ赤ク大ナリ

(図38)



(38才)

同二十三夜出所図

尤モ遅ク出テタリ未タ見タル事ナキ程南方ニ出テタリ

(図39)



我家ヨリ望見スルニ墓地ノ一本杉之所ニ二寸ノ所見ヘタリ古人ノ言ニ依レバ凶年ノ兆ナリト云伝ヘセラタリ(38ウ)

大正三年甲寅年

前年秋社日

正月元日ミツノエ子

黒日数

春社日彼岸ヨリ五日

入梅五月節ヨリ六日目

四月節水曜日凶

五月節土曜日凶

六月節水曜日凶

七月節土曜日凶

八月節火曜日吉

正月一日ミツノヘ子

二月一日ミツノヘウマ

三月一日ミツノヘ子

四月一日カノトミ

五月一日カノトイ

閏五月一日カノトミ

六月一日カノエイヌ

七月一日ミツノトウ

八月一日ツノトウ

九月一日ツノトウ

十月一日ヒノトヒツ、

十一月一日ヒノトウシ(39才)  
月食旧七月十五日凶

大正二年ノ冬期ヨリ降雪少ナク大正三年十二月十八日一尺以上ノ降雪アリタルノミ其後晴天勝ニテ大正三年正月 日ニ至ルモ降雪ナク暖カニシテ春ノ如クナリ一月二十五日旧大正二年十二月三十日二大雨フリ雷鳴四五回アリ(39ウ)  
大正三年旧正月十五夜月出所



(図40)

近年二見ザル程早く出テタリ  
同十六日月入凶



(図41)

近年二見ザル程早く亦北二入りタリ家ニテ  
(40才)

大正三年正月二十三夜出月ノ略図  
(図42)



我家ヨリ望見スルニ御墓地ノ杉ト杉トノ間ヨリ出テ尤モ南方ニ出テタリ(40ウ)

大正三年春氣候天気晴ニテ夏ノ初メ日照リ土用ノ末ヨリ降雨勝ナリ秋天気勝ナリ

作物八稲上作大豆凶作稗中作粟上作蕎麦下作小豆上作ナリ(41才)  
(41ウ)

大正四年一月八日マテ雪ナク春ノ如シ分八日午後晩ニ大雪降り二尺以上降りタリ其レヨリ寒気 寒ニシテ度々降雪アリ寒過キテ河水減少セリ(42才)

(42ウ)

大正四年旧正月十五日月出入

我家ヨリ望見スヘシ所木陰ノ所ヨリ出テ尤モ早く出テタリ近年ナク早く出テタリ色赤ク大ナラズ

(図43)



出月八不見(43才)

大正四年旧正月二十三日夜

月大雪降ノ為メ不見

三上千助ノ番宿ナリ

大正四年氣候八春ヨリ暖氣ニシテ六月田植ノトキ甚タ暑ク大小麦ノ稈丈甚タ長ク実入甚タ悪シ秋雨天勝ナリ冬至リテ雪フラス稲上作稗上作大豆上作小麦大麦悪シ(43ウ)

大正五年旧正月十五日月ノ出所

昨年ヨリ少シ南方ニ出テタリ小サク白ク出テタリ少シ遅ク出テタリ

(図44)



十六日朝月入所

明カクナリテ後入リタリ

(図45)



大正五年旧正月二十三夜月出所

(44才)

(図46)



奥山浅八方ヨリ望見

我家ヨリ望見スルニ墓地ノ杉ト杉トノ間ニ出テタリ一昨年ト同ナル所ヨリ」 (44ウ)

大正六年度(45才)(45ウ)

大正七年度(46才)(46ウ)

大正九年旧正月十五日ノ出所

近年ニ見サル南方ニ出テタリ(晩ク出テ)

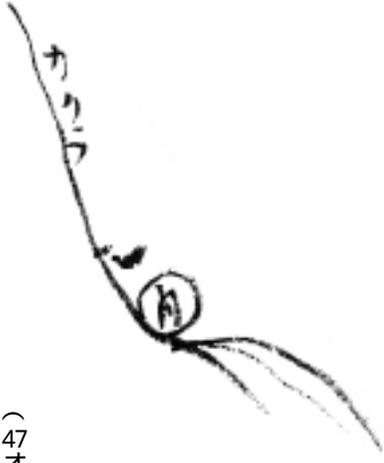
(図47)



同十六日月ノ入所

近年見サル南方ニ入りタリ夜明後ニ入りタルナリ

(図48)



(47才)

(47ウ)(48才)(48ウ)  
 大正十一年旧正月十五日日出所  
 (図49)



家ヨリ見テ梨ノ木ニ出テタリ遅ク出テタリ  
 翌十六日朝月ノ入  
 (図50)



家ノ南角ヨリ見テ井坂ノ隣ノ桐ノ木ニ当タリテ入りタリ南方ニ寄  
 リタリ(49才)

十年度

大豆八虫食豆及腐<sup>カ</sup>レ豆アリテ甚タ悪シ一升十銭ナリ(49ウ)

大正十一年度(50才)(50ウ)

大正十一年春蚕豊作百匁一円五銭框製一枚二付上作九十匁位ノ収  
 入アリタリ

氣候ハ夏土用ヨリ引続キ温暖ナリシ為メ如何ナル湿田ニモ充分実  
 ノリ近年稀ナル豊作ナリ

大麦小麦中作大豆小豆中作稗中粟吉蕎麦凶ナリ

相場大麦一俵三円位大豆一俵四円八十銭位白米一升三十銭

秋ニ入りテモ暖カニシテ霜降ラズ十一月十四日雪フリタリ十一月  
 二十七日大雪降り十二月五日一尺以上ノ雪フリタリ(51才)

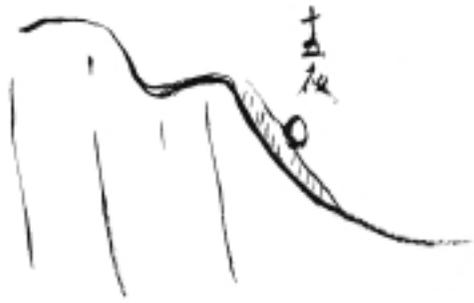
大正十二年一月二入りテヨリ毎日寒氣烈シク雪フリタリ一月六日  
 小寒ヨリ六日、十二日雨フリ其レヨリ毎日寒氣甚タ烈シク雪フ  
 リナレトモ西風少ナシ二月十日ヨリ十五日マテ春ノ如キ晴天ナリ  
 十六日早朝(旧正月元日)ヨリ大雪アリ風向東ヨリ北ニナリタリ  
 二尺以上積リタリ其レヨリ毎日雪フリ寒氣モ甚タ烈シク井ニ氷ノ  
 張りタル朝モアリ三月二日晚(旧正月十五日晚)大雪アリ其レヨ  
 リ亦毎日雪アリ六日マテ寒シ三月九日ニ至リ暖ニナリ四十二度ニ  
 上リタリ(51ウ)

大正十二年癸亥ノ年

旧正月十五夜出所早ク出テタリ

我家ヨリ見テ梨ノ木ニ出テテ南ニ依リタリ

(圖 51)



翌朝八見へズ(52才)

大正十二年旧正月二十三夜澤田浅吉宅ニ於テ参拝セリ出所八雲アル為メ見へサレトモ高ク上リテ後見へタリ昔ノ人ノ話ニ依レハ先ツ平年ノ所ヨリ出テタルヨ一ニ見受ケタリ

大正十二年三月十四日朝川ニ氷流レ底氷付キタリ古人ノ言ニ依ハ寒過キテヨリ三十日後ニ氷流レル年ハ凶作ナリト云ヘリ今年ハ寒過キテヨリ三十七日目ナリ(52ウ)

十三年(53才)

大正十三年氣候春適順ノ氣候ニテ作物能ク發生ス六日ヨリ日照リニテ七月五日ヨリニハカニ氣温高カマリ八十度以上毎日高温ニテ日中外ニテ氣温百二十六度ニ昇リタル日アリ為メニ作皆枯死セリ岩山ノ草木皆枯レテ冬ノ木ノ如シ百二十日ノ大日照ニテ井水モ川水モ大減水古今稀ナル大日照ナリ

稻ハ水不足ノ処ハ凶沢田及水ノ充分ナル田ハ大豊作ナリ殊ニ沢田ハ古今稀ナル大豊年ナリ上田ニハ「(クエ)フチレス發生シ減收セリ(53ウ)」

大豆ハ一反歩ニ付一俵位ノ收穫ナリ甚タ「一種ニモ禍スル所アリ一升二十錢セリ小豆八種ナシ大不作ニテ一升四十錢セリ稗八日照ニテ穂ノ出来サルモノ多ク一束ニ付三升以下ノ一升位收穫アリ但シ嶋數多ク刈リタリ大麦小麦吉蕎麥八下作種ナキモノアリ(日照ノ為メ發芽セズ)(54才)」

養蚕ハ春降霜アリ為メニ掃立テ後半減ス為メニ收繭少ナシ春繭八十錢位 七十二三錢位

日照ノ為メ夏蚕秋蚕共上作

夏繭百匁一円秋繭八十錢位順次下落セリ(54ウ)

大正十四年乙丑年

正月元日朝風西ツ、ノエサル

二月朔日ツ、ノエトラ

三月一日ヒノトヒツズ

四月一日ヒノトウシ

閏四月一日ヒノトヒツズ

五月一日ヒノエ子

六月一日ヒノエウマ

七月一日キノトイ

八月一日キノトミ

九月一日キノトイ

十月一日キノエタツ

十一月一日キノエイヌ(55才)

此年春期ヨリ日照ニテ田植スルヨリ水不足稲生育宜シカラズ七月  
中旬ヨリ雷雨アリ亦時々降雨アリテ凡テノ作物草丈短カケレトモ  
結実充分ナリ殊ニ大豆作近年ノ豊作ナリ蚕モ先ツ上作ナリ繭百匁  
二付一匁十銭位大豆一俵六匁六十銭位ナリ夏繭百匁二付九十銭位  
秋繭百匁一匁八銭位ナリ白米一升四十銭位(55ウ)

大正十三年十月二十四日初雪フリ一寸位其レヨリ十二月三十一日  
マ差シタル雪モ降ラズ十二月中八寒氣アレトモ雪ナク春ノ如シ十  
二月三十一日ノ晩二三四寸降雪アリ其後トモ大雪ナク日向ノ処八  
何日モ春ノ如シ然シ寒氣烈シク氷川ニ張り塞カリ氷ヲ渡リテ往来  
シアリ(56才)

正月十五日月八早ク出テタル模様ナリ曇リテ見ヘズ十六日朝早ク  
暮レタリ場所八良シ

大正十四年旧正月二十三日夜月出所

出張所ニ於テ望見

(図 52)



時間八十二時半ニ出テタリ  
色赤ク甚タ大ナリ  
未タ見タルコトナキ程北方ニ出テタリ(56ウ)

(付記) 本資料の翻刻紹介を快諾していただき、さらに曾祖父三上惣吉氏に關して種々の御教示を賜わった所感者、三上洋一氏と三上家資料を御教示くださった二戸市立歴史民俗資料館館長の相馬福太郎氏に未筆ながら御礼申し上げます。また青森県史編さん室にも御高配を賜わったことを明記して謝意を表する。なお本稿は平成一〇・一一年度文部省科学研究費補助金奨励研究(A)、読書の多様性と伝承の形成に関する民俗学的調査研究の成果の一部である。